

(公印省略)

平成27年5月22日

各 位

公益財団法人尾瀬保護財団

理事長 大澤 正明

第19回尾瀬賞の募集について(依頼)

当財団の運営につきまして、平素からご指導、ご協力をいただき厚くお礼申し上げます。さて、当財団では、湿原に関する研究の伸展を図り、環境保護に対する関心を高めるため、顕彰事業として「尾瀬賞」を実施しております。

つきましては、別添のとおり第19回尾瀬賞の募集要項を送付いたしますので、貴機関関係者の皆様への周知につきまして、ご協力くださいますようお願い申し上げます。

なお、応募用紙は当財団ホームページに掲載しております。ご応募いただく際にはこちらよりダウンロードしてご利用ください。

また、「第18回尾瀬賞授賞式」を下記の日程で開催いたします。多くの方々にご参加いただきたいと考えておりますので、こちらの周知につきましてもよろしくお願い申し上げます。

恐れ入りますが、貴学会学会誌及びホームページ等に募集案内、授賞式開催案内記事を掲載いただけると幸いです。ご協力を賜りますよう、よろしくお願いいたします。

記

1 日 時 平成27年6月8日(月)  
記念講演 午後1時30分～2時30分  
授賞式 午後2時30分～3時15分

2 会 場 都道府県会館 408会議室  
〒102-0093 東京都千代田区平河町2-6-3  
電話 03-5212-9162

3 受賞者

第18回尾瀬賞

受賞者：長野 敏英 東京農業大学名誉教授  
石田 朋靖 宇都宮大学理事・副学長 (受賞当時)  
大澤 和敏 宇都宮大学農学部准教授

受賞研究：「熱帯泥炭湿地の環境特性と泥炭保全管理指標の定量化」

所在地：〒371-8570 前橋市大手町1-1-1  
電 話：027-220-4431  
ファクス：027-220-4421  
HPアドレス：<http://www.oze-fnd.or.jp/>

# 第19回尾瀬賞 募集要項



天空の朝（第19回NHK「わたしの尾瀬」フォトコンテスト 風景の部銀賞作品－撮影 有馬雅美さん）

平成27年4月

## 公益財団法人 尾瀬保護財団

〒371-8570 前橋市大手町一丁目1-1 群馬県庁17階

TEL：027-220-4431 FAX：027-220-4421

ホームページアドレス <http://www.oze-fnd.or.jp/>

E-MAIL アドレス [oze\\_prize@oze-fnd.or.jp](mailto:oze_prize@oze-fnd.or.jp)

# 「第19回尾瀬賞」募集要項

## 1 名 称

第19回尾瀬賞（英名“Oze Prize”）  
主催：公益財団法人尾瀬保護財団

## 2 目 的

「湿原の保全」に関して行われた優れた学術研究を顕彰することにより、この分野の学術的・学際的研究の伸展を図ること、及び環境保全に関する関心を高めることを目的とします。

## 3 賞の内容

### (1) 賞の種類

選考の主たる対象は学術的貢献が顕著な研究者に授与する尾瀬賞です。今後の研究深化が期待される若手研究者（原則として応募時40歳未満）には尾瀬奨励賞を授与します。

### (2) 候補者の対象・資格

1)賞の対象は、国内外の泥炭を有する湿原（以下、「湿原」という。）の生態系及び生物の動態、保全、管理、再生に関する学術的研究（人文社会系の研究を含む）とし、気候、流域、外来種、野生動物などの湿原生態系へ与える影響とその管理に関する研究を含みます。とくに尾瀬の湿原保全に係る課題（\*）について行われた優れた研究の応募を強く期待します。なお、一般湿地生態系の研究は、湿原の保全、管理、再生に大きく貢献する場合は賞の対象となります。

2)応募者は上記の分野において優れた学術的業績を上げ、今後の研究の深化が期待される個人、または複数の研究者が相互協力して研究を進めたグループとします。

3)グループ研究による業績の場合は代表者による申請とします。

4)グループ研究の代表者は、単なるグループの組織・統括者ではなく、「応募研究テーマに関係する主要業績」の共著者として学術的貢献の顕著な人とし、1編以上の主著者であることとします。

5)グループ研究における共同研究者は、応募研究テーマの研究に密接に関与してきた研究者であり、主要業績の共著者であることとします。

6)尾瀬奨励賞の対象者は個人応募のみとします。

7)病気や出産・育児などで長期間（1年以上）にわたり研究活動が中断した期間がある場合はその期間を別紙（様式自由）に書いて、添付して下さい。

### (3) 受賞

1)尾瀬賞受賞者は本賞1名以内、奨励賞2名以内とします。

2)本賞受賞者には1名（1グループ）に賞状および賞金100万円を贈呈します。

3)奨励賞受賞者には1名につき賞状および賞金20万円を贈呈します。

4)適任者がいない場合には受賞者なしとすることもあります。

## 4 募 集

### (1) 募集期間

平成27年(2015)4月1日～8月31日（当日の消印有効）

### (2) 応募方法

以下の書類（①～⑤）をそろえて応募して下さい。記載は日本語または英語に限りません。なお、応募は自薦または他薦とします。

- ① 「第19回尾瀬賞」応募用紙（個人用、グループ用、推薦用のいずれか）
- ② 尾瀬賞応募業績調書
- ③ 応募研究テーマに係る主要業績調書
- ④ 業績一覧
- ⑤ ③に挙げた主要論文、著作の別刷またはコピー

1) 応募用紙は尾瀬保護財団ホームページ（\*）に掲載していますので、ご応募の際は  
こちらからダウンロードしてください。

2) 必要があれば別に資料を求めることがあります。

3) 応募は郵送によります。宅配便での送付も可能です。

4) 原則として、応募は当該年度のみ有効とします。

5) 今回の応募で選外となった場合も、次年度以降の再応募を期待しております。

6) 尾瀬奨励賞受賞者は再応募できますが、奨励賞を再度受賞することはありません。

(3) その他

周辺にすぐれた研究者がおりましたら、積極的に応募を勧めていただくようお願いいたします。

## 5 選考

受賞者は、応募のあった候補者の中から尾瀬賞選考委員会が選考し、尾瀬賞運営委員会の審査を経て、平成28年(2016)3月までに尾瀬保護財団理事長が決定します。

## 6 授賞式

授賞式は平成28年(2016)6月に東京（会場未定）で行う予定です。授賞式において受賞者には記念講演をお願いいたします。また、数年以内に受賞研究とその後の発展についての講演または報告書への寄稿をお願いいたします。

## 7 注意事項

1) 研究対象とした湿原の特色及び研究手法を応募業績調書の「1 研究全体の成果」の欄に明記して下さい。

2) 学術的価値やその活用による学術研究全般及び社会経済面への波及効果など研究の学術的、社会的貢献を応募業績調書の「2 学術的・社会的貢献」の欄に明記して下さい。

3) 研究成果の湿原保全へのかかわり、尾瀬の湿原保全への貢献を応募業績調書の「3 湿原保全への貢献」の欄に明記して下さい。

4) 申請書（添付資料を含む）及び別に求めた資料等については、原則として返却しません。なお、書籍の絶版等の理由により返却を希望する場合には、応募の際にその旨を連絡して下さい。

5) 申請書等に虚偽の記載等があった場合には、応募を無効とします。

6) 審査結果に対する異議の申し立てについてはお受けしません。

7) 審査結果の公表後に、受賞業績等が賞にふさわしくないことが判明した場合には、その賞を取り消すことがあります。

## 8 応募用紙の送付先および問い合わせ先

公益財団法人尾瀬保護財団事務局「尾瀬賞」係

〒371-8570 群馬県前橋市大手町一丁目1-1 群馬県庁内

電話：027-220-4431, ファックス：027-220-4421, Eメール：oze\_prize@oze-fnd.or.jp

\* 尾瀬が抱える課題や尾瀬賞の応募用紙等は、尾瀬保護財団ホームページ (<http://www.oze-fnd.or.jp/>) に掲載しています。

## 尾瀬賞について

公益財団法人尾瀬保護財団は、日本を代表する湿原である尾瀬の貴重な自然環境を守り、後世に伝えていくために平成7年8月に設立され、平成25年4月から公益財団法人となりました。

当財団は、尾瀬に関係する福島、栃木、群馬、新潟、4県の県域を越えて、自然保護団体、山小屋の人々、尾瀬の土地所有者、行政関係者などと一体となって尾瀬の環境保全活動に取り組んでいます。

日本を代表する尾瀬をはじめとした湿原は、人類をはじめ多くの生物にとって貴重な自然であります。それにもかかわらず、年々土地改変により湿原は減少し、また、利用者の増加により植生破壊等が懸念されています。

当財団では、尾瀬に限らずより広く湿原を保護するために、基礎研究に基づいた議論展開が必要であると考え、湿原を対象とした学術的・学際的研究を奨励し、併せて環境保護に関する関心を高めるために顕彰事業「尾瀬賞」の実施を決定し、平成9年度から募集を開始しました。さらに今後の湿原研究が促進することを願い、将来有望な若手研究者のために、平成21年度から「尾瀬奨励賞」を設けております。

この賞がきっかけとなって、この分野の学問的研究が進展し、湿原の貴重な自然に対する理解が深まり、将来にわたって美しい自然を引き継いでいけるようになることを願っているものです。

公益財団法人尾瀬保護財団  
理事長 大澤 正明 (群馬県知事)

## 公益財団法人尾瀬保護財団の主な事業

- 利用者に対する啓発活動  
尾瀬の入山口での利用者啓発、尾瀬ガイドンス（旅行会社等に対する説明会）の開催、ガイド利用の普及・推進、尾瀬ボランティアの活動支援、セルフガイド作成など
- 自然解説活動（一部、群馬県からの受託事業）  
自然解説員によるビジターセンターでの解説活動、現地講座、出張レクチャーなど
- 自然環境の保全及び復元（福島県、群馬県からの受託事業）  
植生復元作業の実施（至仏山、尾瀬沼地区など）
- 利用施設の管理（群馬県などからの受託事業）  
ビジターセンター、公衆トイレ等の施設管理
- 調査研究の実施  
ツキノワグマ対策、野生ジカ対策など
- 顕彰事業の実施  
「尾瀬賞」の実施
- 「友の会」の運営  
財団の事業を理解してもらい、広く支援をいただくために友の会の会員を募集
- その他の事業  
尾瀬サミット、尾瀬写真展の開催など

## 公益財団法人尾瀬保護財団「尾瀬賞運営委員会委員」

委員長	坂本 充	理事	事	(名古屋大学・滋賀県立大学名誉教授)
委員	五十嵐 由利子	理事	事	(新潟県環境審議会会長)
委員	青木 勝	常務理事		(群馬県環境森林部長)
委員	岩熊 敏夫	学識経験者		(函館工業高等専門学校校長)
委員	北村 幸雄	評議員		(株式会社上毛新聞社取締役副社長)
委員	木村 吉幸	評議員		(元福島県自然環境保全審議会会長)
委員	齋藤 晋	理事		(前尾瀬総合学術調査団員)
委員	篠原 徹	学識経験者		(滋賀県立琵琶湖博物館館長、 国立歴史民俗博物館名誉教授)
委員	鈴木 邦雄	学識経験者		(横浜国立大学学長)
委員	長谷川 哲也	理事		(福島県生活環境部長)
委員	福原 晴夫	学識経験者		(新潟大学名誉教授)

(順不同、敬称略)

## 過去の尾瀬賞受賞者

### 第1回 ～1997～

山形 与志樹 学術博士 35歳 環境省国立環境研究所社会環境システム部 主任研究員  
研究テーマ：リモートセンシング画像を用いた湿原環境監視に関する研究

### 第2回 ～1998～

相馬 秀廣 学術博士 48歳 奈良女子大学文学部国際社会文化学科地球環境学講座 教授  
研究テーマ：泥炭地への流入土砂の変遷及び泥炭層の変化に関する研究

### 第3回 ～1999～

楊 宗興 理学博士 43歳 東京農工大学農学部環境資源科学科環境保護学講座 助教授  
研究テーマ：湿原における窒素固定活性とメタン生成プロセス及び嫌氣的窒素固定の役割に関する研究

### 第4回 ～2000～

授賞適任者なし

### 第5回 ～2001～

澤井 祐紀 理学博士 27歳 国際日本文化研究センター日本学術振興会 特別研究員  
研究テーマ：塩性湿原堆積物中の生物化石群集を用いた古地震周期・古地震規模復元に関する研究

### 第6回 ～2002～

矢部 和夫 学術博士 47歳 札幌市立高等専門学校インダストリアルデザイン学科 助教授  
研究テーマ：湿原における植生成立機構の解析とその保全に関する基礎研究

### 第7回 ～2003～

犬伏 和之 農学博士 47歳 千葉大学園芸学部 教授  
研究テーマ：尾瀬ヶ原湿原と熱帯泥炭地における微量温室効果ガス動態の総合研究

### 第8回 ～2004～

市川 昌広 人間・環境学博士 42歳 総合地球環境学研究所研究部 助教授  
研究テーマ：マレーシア・サラワク州の湿地林における生物資源とイバン人によるその利用

### 第9回 ～2005～

林 成多 理学博士 32歳 財団法人ホシザキグリーン財団 研究員  
研究テーマ：東アジア産ネクイハムシ亜科の分類学的研究および化石記録から探る日本列島のネクイハムシ相の形成過程

### 第10回 ～2006～

赤木 右 理学博士 49歳 九州大学大学院理学研究院 教授  
研究テーマ：湿原の化学的特徴を用いた地球環境指標の開発と応用

### 第11回 ～2007～

授賞適任者なし

### 第12回 ～2008～

竹原 明秀 理学博士 49歳 岩手大学人文社会科学部 教授  
研究テーマ：東北地方の湿原に発達する植物群落の構造とその保全に関する研究

### 第13回 ～2009～

#### 〔尾瀬賞〕

富士田 裕子 理学博士 51歳 北海道大学北方生物圏フィールド科学センター植物園 准教授  
研究テーマ：北海道の湿原目録の作成と湿原生態系の解明および保全に関する研究

#### 〔尾瀬奨励賞〕

授賞適任者なし

第14回 ～2010～

〔尾瀬賞〕

中村太 農学博士 51歳 北海道大学大学院農学研究院 教授 ※代表者  
亀山哲 農学博士 41歳 独立行政法人国立環境研究所生物・生態系環境研究センター  
主任研究員

水垣滋 博士（農学）35歳 独立行政法人土木研究所 寒地土木研究所 研究員

研究テーマ：釧路湿原における流域土地利用の累積的影響評価と生態学的保全及び復元に関する研究（グループ研究）

〔尾瀬奨励賞〕

廣田充 博士（理学）35歳 筑波大学大学院生命環境科学研究科持続環境学専攻 准教授

研究テーマ：生物間相互作用が制御する湿原の炭素循環～チベット高山湿原での研究例から～

第15回 ～2011～

〔尾瀬賞〕

授賞適任者なし

〔尾瀬奨励賞〕

田中周平 博士（工学）35歳 京都大学大学院地球環境学堂環境調和型産業論分野 准教授

研究テーマ：琵琶湖岸水生植物群落の植生構造分析とその保全・再生に関する研究

第16回 ～2012～

〔尾瀬賞〕

崎尾均 博士（理学）56歳 新潟大学農学部附属フィールド科学教育研究センター佐渡ステーション 教授

研究テーマ：荒川流域の水辺林の生態と管理に関する研究

〔尾瀬奨励賞〕

藤村善安 博士（農学）33歳 産業技術総合研究所地圏資源環境研究部門地下水研究グループ 特別研究員

研究テーマ：湿原植生の動態機構解明と湿原生態系の管理・監視手法構築に関する研究

第17回 ～2013～

〔尾瀬賞〕

中村隆俊 博士（農学）39歳 東京農業大学生物産業学部生物生産学科 講師

研究テーマ：湿原植物の分布機構解明へむけた生態生理学的アプローチ

〔尾瀬奨励賞〕

授賞適任者なし

第18回 ～2014～

〔尾瀬賞〕

長野敏英 農学博士 73歳 東京農業大学名誉教授 ※代表者

石田朋靖 農学博士 60歳 宇都宮大学理事・副学長

大澤和敏 博士（農学）38歳 宇都宮大学農学部准教授

研究テーマ：熱帯泥炭湿地の環境特性と泥炭保全管理指標の定量化

〔尾瀬奨励賞〕

授賞適任者なし

第13回より尾瀬奨励賞を新設

〔年齢は応募年度の4月1日、職名は受賞時〕